

消えた年金の解決が先 保険料の年金天引きやめよ

後期高齢者医療制度がスタートし、十五日の年金から、さっそく保険料が天引きされました。

市役所の窓口では、保険料についてくわしい説明をもとめる人などからの相談の対応に追われています。

ここ数年、年金支給が削減され、高齢者の増税がされる中、この制度では月額一五〇〇円しか年金支給がない人からも、保険料が

天引きされています。また、六十五歳から七十四歳の単身、夫婦世帯などからも、保険料を年金から天引きしています。

「消えた年金問題について、まともな解決をせず、年金からお金をとるのは許されな

い」「年金記録の訂正は本人の申請が必要としながら、保険料の年金天引きを本人の同意なしにやるべきでない」などの声が寄せら

後期高齢者医療制度 市民の怒り広がる

れています。

政府は来年十月より六十五歳以上の年から住民税まで年金からの

天引きをすすめるようとしています。年金を支給することは問題だらけ、年金から徴収するばかりの姿勢には、高齢者から強い怒りがあがっています。



松尾 信次

議員日誌

春の訪れを感じる毎日です。我が家のチューリップがきれいな花を咲かせ、毎朝見るのが楽しみです。

夏の朝顔、冬の椿

など、季節ごとの花の美しさを感じます。四月は新しい出発の月です。初心にかえって、毎日の活動をすすめたいとおもいます。

妊婦検診公費負担拡充へ

日本共産党も市議会でもとめる

国・府の制度化で いっそうの充実を

寝屋川市では、妊婦健診が、公費負担一回から七回に、六月から拡充されます(主な内容は別紙)。

いま妊婦健診をほとんどうけずに、飛び込み出産する妊婦が増え

ています。健診を受けないと、逆子や早産などの異常が発見されず危険です。

また晩産化やストレスなどでリスクの高い妊婦も増え、健診は重要になっています。

妊婦健診は保険がきかないので、一回五千元、高い時は一万五千元ぐらゐ費用がかかります。厚生労働省は母子の健康のため、健診を十四回受けるのが望ましい、としています。

一回五千元としても七万円もかかります。公費助成は住民の切実な願いであり、日本共産党も市議会でも公費負担の拡充をもとめてきました。

今回の公費負担の拡充は重要な前進です。同時に、国や大阪府が財政的な保障をおこない、さらに制度の拡充をすすめることがもとめられます。

妊婦健診公費負担の内容

- 6月1日から公費負担を7回にする
- 内容・回数
 - ① 一般健診(妊婦8週前後) 1回
 - ② 中期健診(妊婦20週前後) 1回
 - ③ 後期健診(妊婦24週以降) 5回
- 受診場所 大阪府内の医療機関 市内の助産所
- 「妊婦健康診査受診票」(追加分)の申請は6月1日から、市民課 各市民センター、堀溝サービス窓口 サービス処ねやがわ屋、健康増進課

訂正

前号での緑風園跡地の略図で、「あやめ保育所」は「あやめ保育園」に訂正します。